

福岡市東区夫婦殺害事件 24 年 遺族ら情報求めビラ配布
毎日新聞 2025/2/16

2001 年 2 月に福岡市東区の民家で高齢の夫婦が殺害された事件は、未解決のまま 24 年がたとうとしている。遺族で次女の藤堂早苗さん（69）＝千葉県松戸市＝らは 14 日、イオンモール香椎浜（福岡市東区）でビラ配りをし「小さな情報提供に頼るしかない」と協力を呼び掛けた。

事件は、01 年 2 月 26 日午後 5 時 35 分ごろ、東区若宮 5 の民家で、住人の金丸金次郎さん（当時 80 歳）と妻愛子さん（同 73 歳）が遺体で見つかって発覚。司法解剖の結果などから、殺害されたのは同 17 日午後 11 時ごろとされる。室内が荒らされており、夫婦以外の複数の足跡や血の付いた包丁が見つかった。

有力情報には、藤堂さんから私費懸賞金（上限 250 万円）が支払われる。24 年にもビラを配布し、県警には 3 件の情報が寄せられたが、犯人特定には至っていない。藤堂さんは「科学捜査も進んでおり望みは捨てていない。多くの人に事件のことを知ってほしい」と訴えた。

県警はこれまで延べ 7 万 1000 人の捜査員を投入してきた。東署の松岡法之署長は「犯人検挙まで粘り強く捜査を続けていく。一件でも多くの情報提供をお願いします」と話した。情報提供は東署（092・643・0110）。【宗岡敬介】